

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	胃癌症例における再発予後危険因子としての術前サルコペニアの意義
	研究目的	胃癌症例における術前サルコペニアが再発や予後危険因子となるのかを非サルコペニアの症例と比較して検討する。
	研究対象者	神奈川県立がんセンターで胃がんの診断で 2010 年から 2015 年に手術を受けられた方。当院で 2010 年から 2015 年までに当院で胃癌の診断で系統的リンパ節郭清を伴う胃切除術を施行された患者を対象とする。
	研究期間	西 暦 2019 年 1 月 25 日 ~ 西 暦 2024 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	大島 貴
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし